

リサイクル料金等収受に係る委託手数料の見直しについて

1. 1台当たりの作業時間の計測

- 平成 27 年 9 月 16 日開催の第 63 回資金管理業務諮問委員会にて、「1台当たりの作業時間に人件費コスト等を加味して算定する」というリサイクル料金等の収受に係る委託手数料(以下、「委託手数料」という)の新たな考え方及び算定ロジックについて審議・承認を受けた。
- 上記の考え方に基づき、リサイクル料金等収受の委託業務に係る1台当たりの作業時間の計測を、自動車販売事業者等及び引取業者を会員とする関係団体の協力を得て、平成 27 年 8 月から 9 月にかけて実施した。
- 計測結果を基に、委託手数料の試算結果について、平成 27 年 10 月 21 日 関係団体との検討会にてヒアリングを実施した。主な意見は、別紙「関係団体へのヒアリング結果」のとおり。

2. 新手数料額について

計測結果と、以下の考え方を基に委託手数料を改定したい。

- 算定ロジックの見直しによる低減効果を反映する。
- 業務の効率化による改善を促す算出値として、新車購入時預託で実測平均値(170秒)より50%減の90秒、引取時預託については実測平均値(298.4秒)より70%減の90秒としたい。その理由として、新車購入時預託の効率化は、販社システム等の違いによるところが大きいものの、既に効率化された業務を行っている拠点もあることから50%減とする。
また、引取時預託についても50%減を基本とするが、自動車リサイクルシステムという共通の基盤を利用して作業を行っており、既に一定程度の効率化を図っている事業者と比較して、他の事業者も今後、効率化をより促す効果が見込めることから70%減とする。
- 但し、急激な値下げは、それに対応するため作業時間を削減し、車台番号・リサイクル料金等の確認が疎かとなるなどの作業ミスを誘発する懸念がある。また、効率化による改善を促す算出値を適用するには、「十分な準備期間を考慮したうえでの施行していただきたい」、「いくつか段階を踏んでいかないと販売ディーラーに納得いただけない」といった意見もあることから、激変緩和の期間(5年間)を設けたい。
- 激変緩和の期間中は1台当たりの作業時間に、現行の想定値(新車購入時預託:120秒、引取時預託:175秒)を引き続き適用したい。
- 上記の作業時間に基づく新手数料額は下表のとおり。

			現行 ①	激変緩和期間中 (H29～H33年度) ②	激変緩和期間以降 (H34年度～) ③	増減 ②-① -[減少率1-(②÷①)]	増減 ③-① -[減少率1-(③÷①)]
新車購入時 預託	預託申請/リサイクル券 発行実務	1台当たりの 作業時間	120秒	120秒	90秒	0秒	-30秒 (-25%)
		手数料額※	146円/台	80円/台	61円/台	-66円/台 (-45%)	-85円/台 (-58%)
	預託証明	1台当たりの 作業時間	20秒	20秒	10秒	0秒	-10秒 (-50%)
		手数料額※	48円/台	13円/台	6円/台	-35円/台 (-73%)	-42円/台 (-88%)
引取時預託	預託申請	1台当たりの 作業時間	175秒	175秒	90秒	0秒	-85秒 (-49%)
		手数料額※	203円/台	113円/台	58円/台	-90円/台 (-44%)	-145円/台 (-71%)

※税抜き価格

- 新手数料額への改定時期については、委託手数料が資金管理料金のコストの一部(約半分)であることから、資金管理料金改定の予定日である平成29年4月1日に合わせて実施することとしたい。

3. 今後の委託手数料の見直しについて

- 1) 急激な値下げによる影響を回避するための 激変緩和の期間(5年間)を、自動車販売事業者及び引取業者に対する委託業務の効率化支援を実施するための期間(以下、「効率化支援期間」)としたい。
効率化支援の具体策は以下の3点を中心に検討・実施予定。

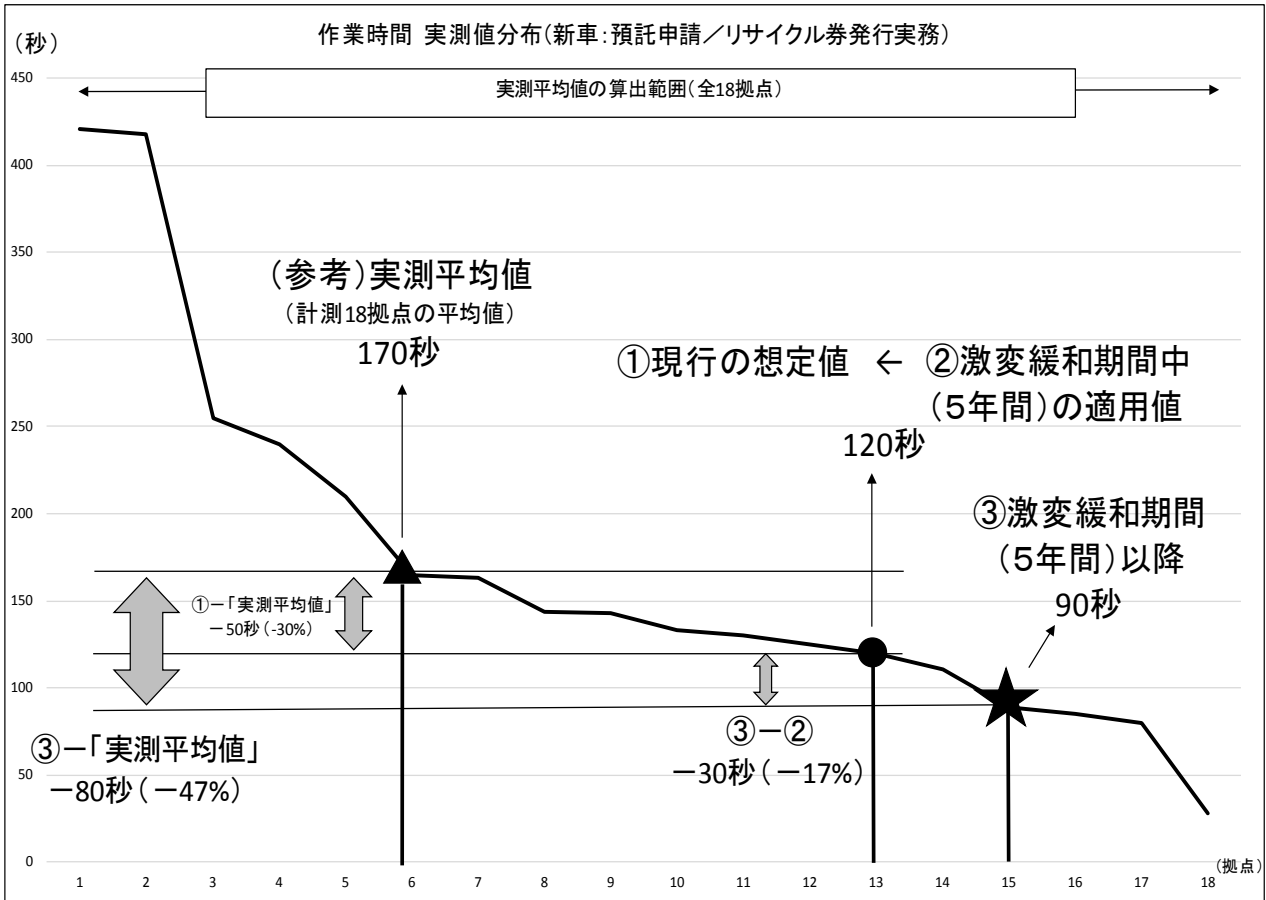
委託業務の実務詳細の切り分け	効率化支援の具体策(案)	担当	実施時期(案)
各拠点・事業所の努力による 効率化が可能なもの	・業務手順の見直し ・事業者向けマニュアルの改訂	資金管理 センター	H28年度中
各拠点・事業所の努力による 効率化が困難なもの	・リサイクルシステムの改修	資金管理 センター	H29年度中

- 2) 効率化支援期間の5年目にもう一度手数料額の見直しを行い、より効率化支援の効果を反映したい。
今後は、定期的(5年を目処)に委託手数料の見直しを実施していきたい。

以上

図1 「1台当たりの作業時間の適用値イメージ」

○新車購入時預託(預託申請/リサイクル券発行実務)



○引取時預託(預託申請実務)

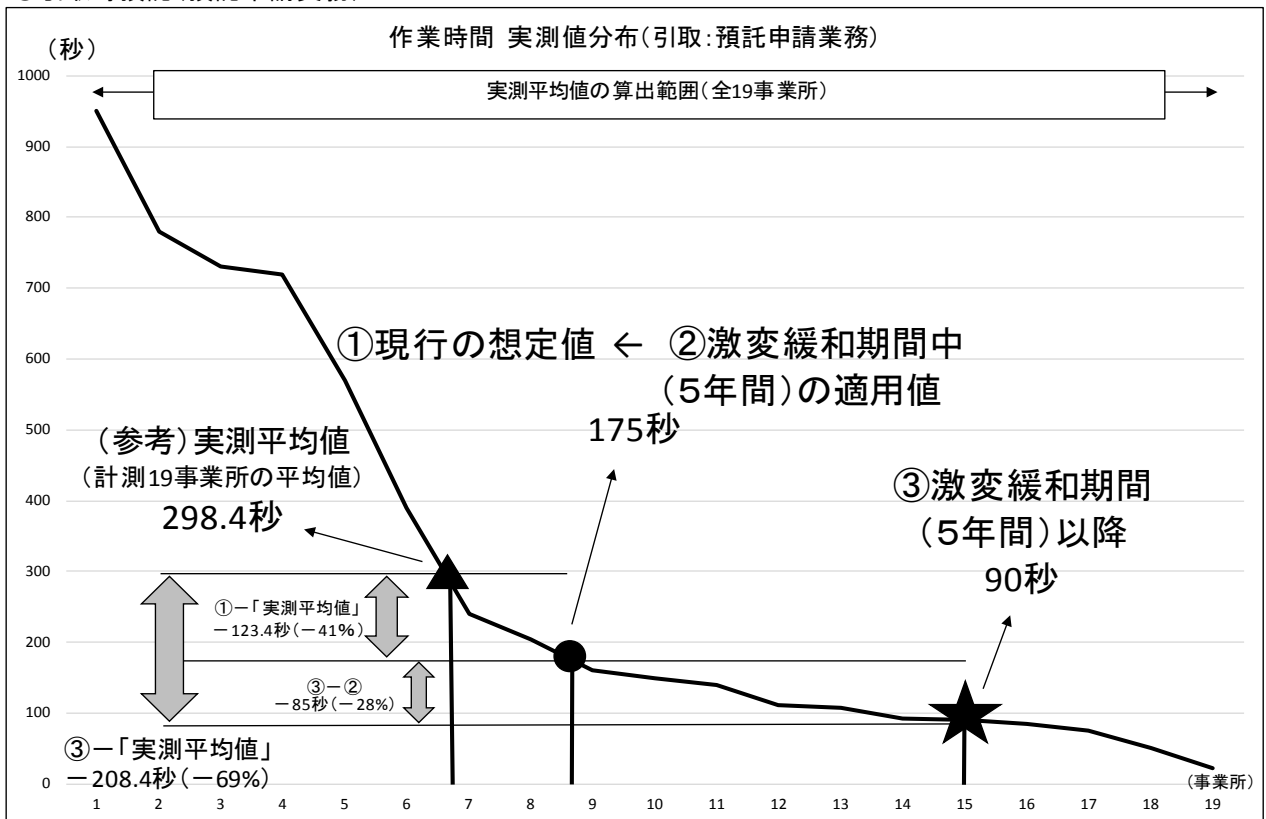
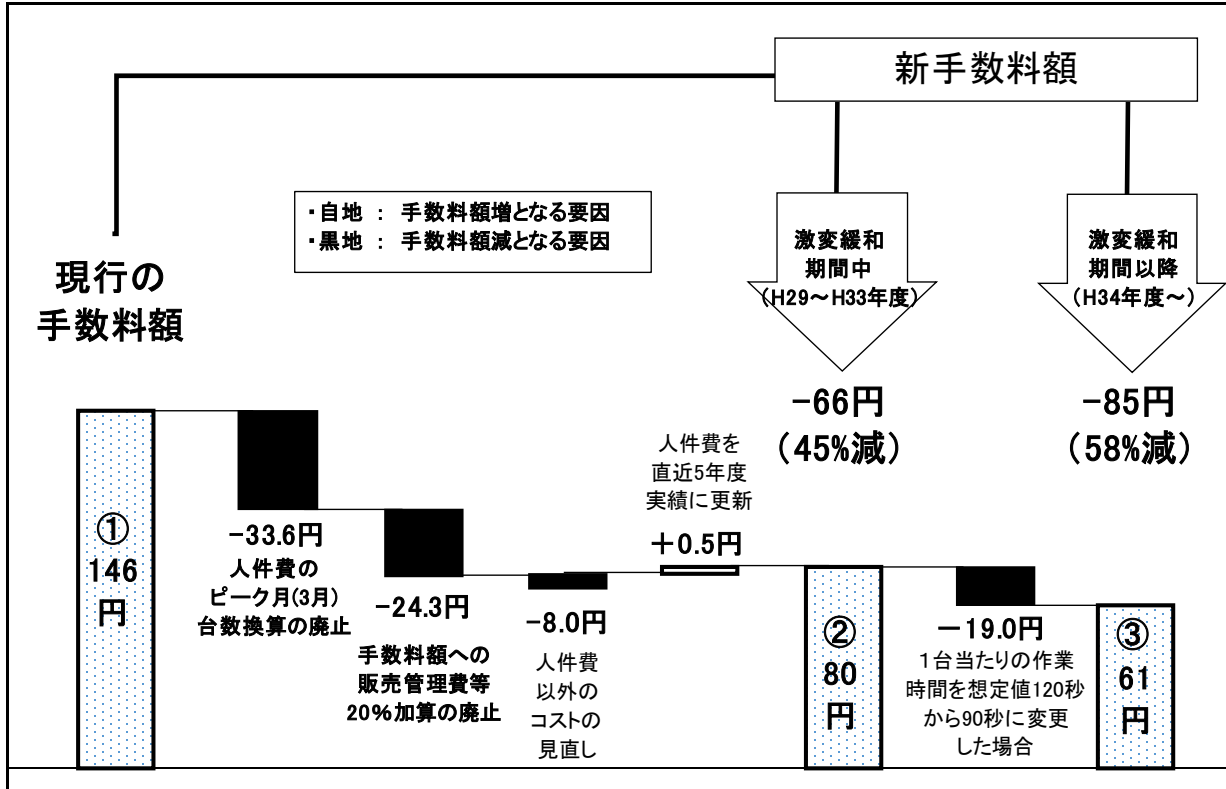


図2「新手数料額の試算結果 要因別増減表」

○新車購入時預託(預託申請/リサイクル券発行実務)



○引取時預託(預託申請実務)

